

放課後子ども総合プラン運営委員会(第2回)

●開催年月日 平成30年2月15日(木)

●場 所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席者 出席委員 12名

会 長	伊 藤 鶴 吉
副 会 長	松 浦 明 伸
委 員	景 山 豊
委 員	仙 田 桂
委 員	熊 澤 光 浩
委 員	滝 哲 治
委 員	吉 野 薫
委 員	坪 内 三
委 員	倉 橋 義 一
委 員	滝 保 子
委 員	丹 羽 鉦 貢
委 員	菱 田 幹 生

欠席委員 2名

委 員	内 藤 昇 彦
委 員	伊 神 香 織

説明のため出席した職員

教 育 長	村 良 弘
教 育 課 長	稲 田 剛
教 育 課 主 幹	仙 田 隆 志
教 育 課 副 主 幹	横 川 幸 哉
子 育 て 支 援 課 長	鵜 飼 篤 市
子 育 て 支 援 課 副 主 幹	長 谷 川 崇

事務職員	教育課主事	大 橋 潤 一
	教育課主事	山 田 淳 子

1. 教育長あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 平成 29 年度放課後子ども教室推進事業及び放課後子ども総合プラン事業報告並びに平成 30 年度放課後子ども教室推進事業及び放課後子ども総合プラン事業計画（案）について

事務局より説明

質疑

委員 「放課後子ども総合プラン事業報告」に平成 30 年 1 月 16 日に放課後子ども教室参加申込書を郵送とあるが、放課後子ども教室を実施していない古知野北小学校、布袋北小学校、草井小学校についても送ったのか。

事務局 放課後子ども教室を実施していないので送っておりません。

委員 実施していない 3 校についての状況はどうか。

事務局 実施するには場所が必要であり、余裕教室が確保出来れば設置を考えていきたいと思いますが、今の所、何年に実施できるかの見込みが立っていないので、実施は出来ない状況にあります。

委員 30 年 1 月 16 日の新聞に稲沢市が放課後児童クラブを開所とあったが、江南市としてはどうか。

事務局 学校運営の支障の無い範囲で、児童数の推移を見ながら、余裕教室ができれば当然放課後子ども教室の設置を考えていかなければならないと思います。

委員 実施していない 3 校に対して前向きな姿勢が見られないように思うがどうか。

教育長 放課後子ども教室を実施していない市町もあり、文科省の方から余裕教室があれば、子どもの居場所作りとして放課後子ども教室の実施を提案されているものであり、江南市としては、余裕教室のあるところから実施しているところである。

委員 現在7校で放課後子ども教室を実施しているが、何校から始めたのか。

事務局 2校から始めました。

委員 2校から7校に増えたという事は、江南市としては、前向きな姿勢で取り組んでいると考えていいのではないか。各小学校の状況を鑑みて、教室に余裕が出来れば、放課後子ども教室についても順次実施していって欲しいと思われる。

委員 もっと前向きに考えていただきたい。

教育長 放課後子ども教室の運営は、単年度で考えられるものではなく、余裕教室が将来的に確保できないと難しいと思われる。江南市としては、放課後子ども総合プランの考え方に基づいて、学童保育の子ども達と放課後子ども教室の子ども達が一緒に活動をするという目的でスタートさせている。この総合プランを充実させて、子どもたちにより良い体験の場を提供することができるよう、進めていこうと考えている。

委員 3校について、放課後子ども教室の実施計画ができた時は教えて欲しい。

事務局 児童数の推計をもとにして、余裕教室ができるか判断しております。余裕教室ができる見込みがあれば、放課後子ども教室の設置を考えていきたいと思えます。

## (2) 平成29年度放課後児童健全育成事業報告及び平成30年度放課後児童健全育成事業計画(案)について

事務局より説明

質疑

委員 平成30年度の受付けは終了したか。本年度の申し込み人数は1167名とあるが、前年度は何名か。

事務局 平成30年度の受付は終了しました。前年度の申し込み人数は1138名でした。本年度は29名増えています。

## (4) 古知野南小学校における共通プログラムについて

## 事務局より説明

### 質疑

委員 一体化プログラムと共通プログラムは同じ意味合いか。共通プログラムの共通とは、学童保育の子ども達と放課後子ども教室の子ども達と一緒に活動するということか。市内の7校が同じように活動することではないのか。

事務局 一体化プログラムと共通プログラムは同じ意味です。共通プログラムとは、放課後子ども教室のプログラムに学童保育の子ども達が参加するというものです。

委員 放課後子ども教室の活動計画は、1つの研究会というところが、全体として考えているのか。各教室に任されているのであれば、負担が大きいのではないか。学童保育と放課後子ども教室の子ども達と一緒に活動することによる課題とか問題点はあるのか。共通プログラムの放課後遊びの会を実施している学校が、限られているようだが、少しでも多くの学校で実施して、もっと全体を見て課題を検討した方がいいと思う。

事務局 放課後子ども教室全体でコーディネーターが1名配置されており、その方が共通プログラムを総括しています。各教室には学習アドバイザーが1名と安全管理員が複数名おります。放課後子ども総合プラン研究会として、コーディネーター、教育課の職員、子育て支援課の職員、学習アドバイザー、安全管理員の方々と話し合い、内容を検討したり、新たな取り組みを考えたりしています。

それぞれの教室で、課題や問題点は出てきており、古知野南小学校では、1年生と2年生だけでも人数が多いため教室の中では取組みが出来ない等ありました。

教育長 当面一体型として、学童保育と放課後子ども教室の子ども達が、学校内の行き来が出来るところから、共通プログラムを実施していく予定である。今後も国の指針である共通プログラムを進めていきたいと考えている。

## (4) 意見交換について

委員 草井小学校でパトロールをしているが、夏頃の下校時、天候が悪くなり、雷が激しくなってきたことがあった。待機するか判断が非常に難しかった。こういった場合、どう対応するの

がよいのか。また、江南市としては各小学校にどのような対応をしているのか。

事務局 基本的には、子どもの安全が第一と考えて、学校長の判断を仰ぐことになると思われます。最近インターネットを介しての情報提供が進んでいるので、早めの判断ができ、保護者の方、ボランティアの方、スクールガードの方にもメールにより状況をお知らせすることが出来ていると思います。各学校での判断に委ねるものであり、江南市として一概に指示までは出してないのが現状です。

委員 昨年の夏も雷が激しくなってきた時、低学年を帰せない状況になったので、全員を体育館に集めて通学班で待たせておいて、安全を確保して帰すということをやった。それでも子ども達が帰った後に雷が激しくなってきたときは、通学班の担当の教員に、家の近隣まで見守りのお願いをしている。子ども達にも自分の身は自分で守る事を教えなければいけないので、通学途中に避難することも指導している。

放課後子ども教室、学童保育の保護者の方への連絡方法が、電話だけのように思われる。特に学童保育の保護者の方は働いてみえるので、電話だと不便を感じているとの意見もあるようだ。災害時の対応など、学校だとメールの一斉配信という形を取っている。予算のかかる事なので難しいとは思いますが、今後、メールでの配信を検討いただきたい。

#### (5) その他

事務局より、今年度までは放課後子ども教室は「教育課」、学童保育は「子育て支援課」が実施していたが、平成30年度の機構改革に伴い、両事業とも「こども政策課」へ引き継がれることを報告。

午前10時55分 閉会